

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名		事務事業分類		A 一般事務事業	
みはら歴史博物館学芸系事業		シート番号		08-67	
担当部署名		評価責任者(課長名)		増田	
文化観光 局		博物館 部		学芸 課	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立みはら歴史博物館条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成15年3月、美原町立の施設として開館。平成17年2月の堺市との合併以後、美原地域の歴史文化を中心とした展示事業等を行ってきたが、同館の指定管理者制度導入を前に特別展の開催を取りやめ、みはら歴史博物館学芸系事業として、みはら歴史博物館展示事業を継承することとした。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (みはら歴史博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び文化・歴史などに興味・関心のある人々			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民とりわけ子どもたちが美原地域を中心とした歴史文化について親しみ理解を深め、郷土への愛着を育むことに寄与する。さらに、地域の誇る歴史文化の発信拠点として、「堺」の都市魅力の向上にも貢献する。また、近隣の黒姫山古墳から出土した古墳時代の甲冑(市指定有形文化財)を修復・保存・展示を行い、郷土の貴重な文化財として後世に伝えていく。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	「黒姫山古墳」「河内鋳物師」を主要テーマとする常設展を中心とした郷土の歴史文化を紹介する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 展示に係る業務を一部委託して実施している。				

Ⅲ. 投入量

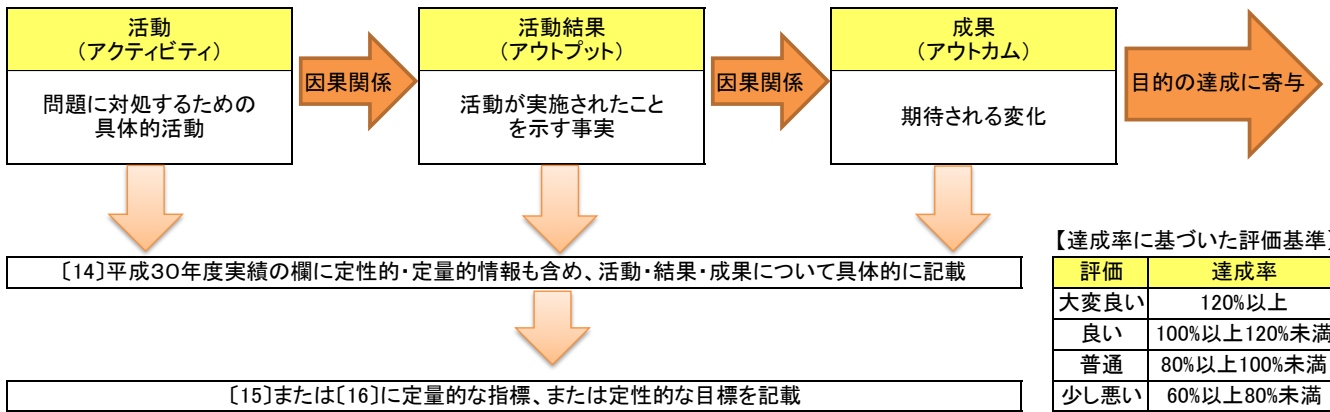
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	0	0	1,913	2,425	
	主な事業費内訳	委託料	千円			1,866	2,300
		役務費	千円			0	20
		需用費	千円			33	50
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円			2	0
		市債	千円				
		その他(土地建物貸付収入・物品売払収入)	千円			1,057	981
	一般財源	千円			854	1,444	
	12 人件費 (b)	千円	0	0	2,460	2,430	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	4,373	4,855		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	みはら歴史博物館学芸系事業	シート番号	08-67
--------------	---------------	--------------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	○資料燻蒸業務						
		○黒姫山古墳出土資料の修復保存業務						
		○みはら歴史博物館の学習ノート作製						
	15	指標名	単位	/	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		常設展・特別展(講演会・イベント含む)開催回数	回	目標値			1	1
				実績値			1	
				達成率			100%	
				評価			良い	
	算出方法・設定根拠など		常設展企画・パンフレット作製等					
	16	指標名	単位	/	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		入館者数(展示室内)	人	目標値			3,000	4,000
				実績値			4,424	
				達成率			147%	
				評価			大変良い	
	算出方法・設定根拠など		展示場への入館者数					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	計画していた業務は無事終了し、目的は達成できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。